

TOTO

タンク密結形便器

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

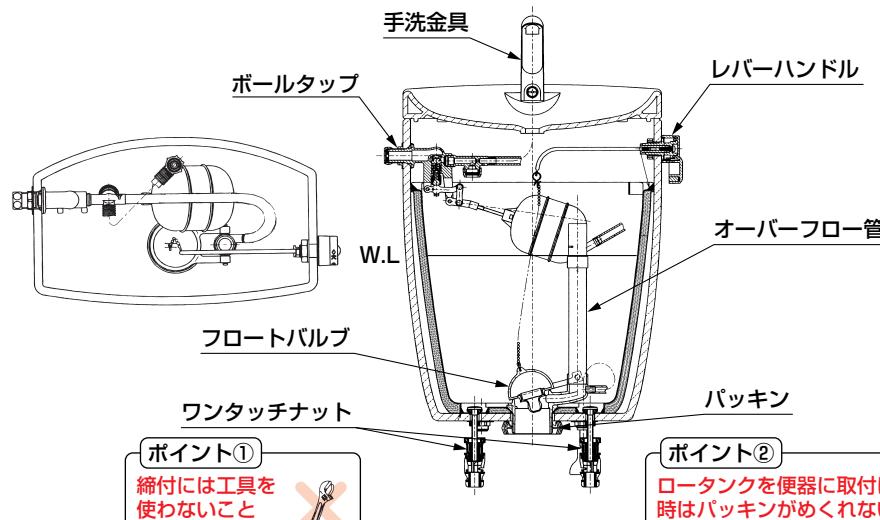
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようにになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

各部の名称及び施工のポイント

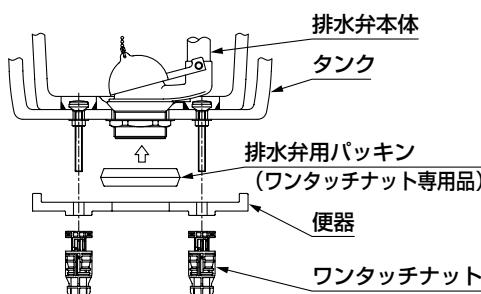


※(→□) 内の数字は器具の取付け手順を示します。

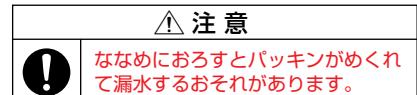
器具の取付け

1 タンクと便器の固定

排水弁本体のねじ部にパッキンを差込み、便器側の取付ボルト穴に合わせて差し込んでください。



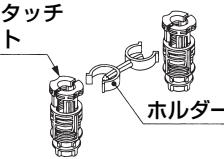
ロータンクを便器に取付ける
下図のようにロータンクをまっすぐおろすように便器に取付けると確実にシールできます。



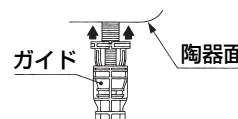
1 タンクと便器の固定（続き）

ワンタッチナット
ナット

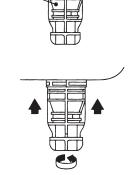
（1）ホルダーを外す



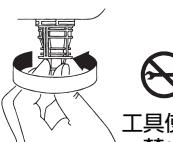
（2）つばが広がっていることを確認する



（3）つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む



（4）ガイドを少し回しながら押し上げる。



（5）ワンタッチナットを手でしっかりと締めつける

△ 注意

ワンタッチナットの締付けは手締めで行ってください。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

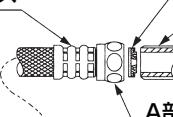


2 ボールタップと止水栓（別売）の接続

A部を固定した後、B部を固定してください。

連結管またはフレキホース

減圧ブッシュ
ボールタップ本体



A部

B部

止水栓（または給水管）

固いパッキン

2 ボールタップと止水栓（別売）の接続（続き）

減圧弁ブッシュの取扱い

水圧が低く（0.1MPa以下）タンク貯水に時間がかかりすぎると減圧ブッシュをはずしてセットしてください。その場合、接続部には製品に付属のパッキンを使用してください。減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

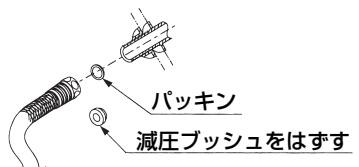
（減圧ブッシュをセットする場合）



減圧ブッシュは必ず図の向きに入れてください。



（減圧ブッシュをセットしない場合）



3 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL（標準水位）に合うように、次の要領で調節してください。

①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。

- ・上から見て右回し…止水位が上がります。
- ・上から見て左回し…止水位が下がります。

②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。

※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。

調節リング
引き上げて回転させる。

右回し

左回し

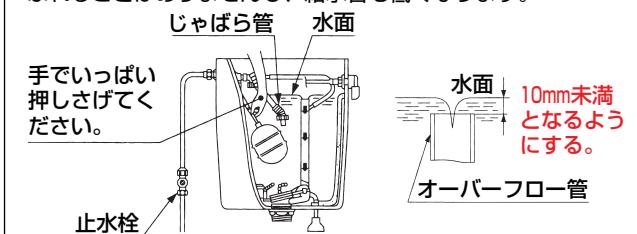


ボールタップの吐水量調節

水圧が高い場合は、タンクへの給水音が激しくなるばかりでなく使用量が増えますので、吐水量を適度に調節する必要があります。止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

4 止水栓の調節

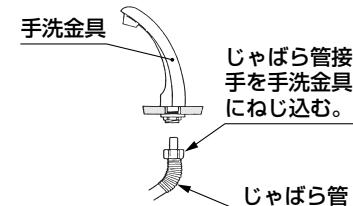
ボールタップの浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障してもタンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



△ 注意

手洗付の場合は、手洗のじゃばら管をタンク内に向けて吐水するようにしておいてください。タンク内に向けていないと、タンク外へ水が飛び出することがあります。

5 手洗金具の接続



手洗いカランの吐水量調節

調節ねじをドライバーなどで回し、手洗カランからの吐水量が適当な水勢になるように調節してください。

ドライバー

調節ねじ

2~3度操作して、漏水等の異常がないことを確認してください。

※同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。手渡しができない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

2~3度操作して、漏水等の異常がないことを確認してください。